

# 紐州ごぼう

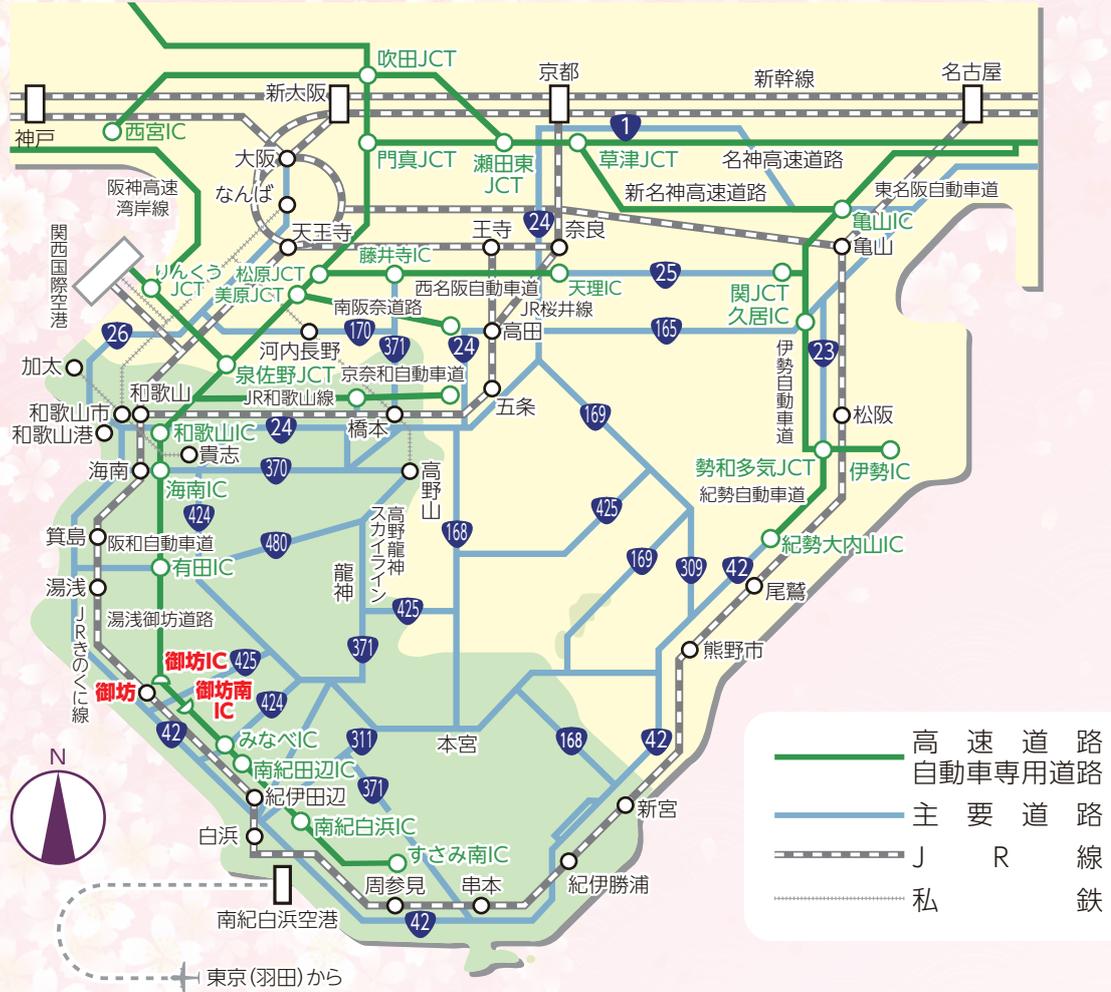


自然と  
歴史ロマン  
溢れるまち

宮子姫



# わかやまマップ



産湯海水浴場

御坊市から約10km

# 日高マップ



興国寺

御坊市から約10km



煙樹ヶ浜

御坊市から約4km



道成寺

御坊市から約4km



かえる橋

御坊市から約13km



南部の梅林

御坊市から約20km





日本のシンデレラ

宮子姫生誕の地 C-2

絶世の美女にして、道成寺の建立に大きく貢献した宮子姫。当時は、長く美しい黒髪から「かみなが姫」と呼ばれました。現在では、海士の娘から天皇の御妃になったと伝えられていることから「日本のシンデレラ」と呼ばれています。宮子姫生誕の地が九海士の里、現在の御坊市の八幡山周辺といわれ、宮子姫にあやかり、「美人の里」と呼ばれています。



伝説のはじまり

八幡山公園 D-2

絶世の美女「宮子姫」ゆかりの地にある公園。春には桜が咲き、花見のスポットとしてオススメです。宮子姫とゆかりの深い吉田八幡神社と隣接しています。



歴史をかえる大発見

堅田遺跡 B-3

1999年の調査で大規模な環濠集落が発見され、その中から日本最古の青銅器ヤリガンナの鑄型が出土しました。青銅器の製造は北九州で始まり、東へ広まったという、これまでの定説を覆す大発見でした。ヤリガンナの鑄型をはじめ、堅田遺跡の資料は御坊市歴史民俗資料館で展示しています。



和歌山みかん

観光みかん園 D-1

開園期間は、10月中旬から11月下旬です。大自然に囲まれたみかん園で、もぎたての甘いみかんが食べられます。



レトロな世界へ

紀州鉄道 B-3

営業距離2.7キロメートルの日本一短いローカル私鉄です。観光だけでなく、生活鉄道として今も市民から愛され、親しまれています。大正ロマン溢れる“寺内町”へは、西御坊駅でお降りください。



御坊のルーツ

日高別院と寺内町 C-4

御坊の名前の由来になった本願寺の名刹日高別院は「御坊所」「御坊様」とも呼ばれ、土地の人々に親しまれてきました。境内の大イチョウは、樹齢400年以上で県の天然記念物に指定されています。日高別院周辺の寺内町は江戸時代に各地の特産物を扱う問屋などが軒を並べ大変栄えました。今でもその面影を残した町家と明治から大正・昭和と日本が近代化していく時代の特性が残る貴重な町並みが残っています。また、平成28年10月にオープンした「御坊寺内町会館」では、1964年東京オリンピック誘致に尽力した御坊市の名誉市民第1号である故・和田勇氏の資料展示コーナーも併設しています。



お金にまつわる願いなら

宝神社 C-3

宝という名前のとおり、財宝、金運の守護の神社です。宝くじのシーズンに御参りすると…。



御坊祭

小竹八幡神社 B-4

日高地方最大の祭り…「御坊祭」。毎年10月4、5日に行われる小竹八幡神社の奉納神事祭のことで、本祭には境内で県無形民俗文化財の「下組の雀踊り」、県無形民俗文化財第1号・国選択無形民俗文化財である「けほん踊り」などが奉納されます。



岩内1号墳 D-4

7世紀中頃に築造された横穴式石室墳です。石室からは中央の皇族や有力豪族の古墳に匹敵する副葬品が見つかっています。そのことから大変身分の高い人物が埋葬されたと考えられ、中大兄皇子のもとに謀反の罪で連行され、処刑された悲劇の皇子「有間皇子」ではないかといわれています。



悲劇の皇子が眠る？



日本屈指



ハマボウと日高川河口 C-5

御坊市の花木及び天然記念物にも指定されているハマボウの群生地が日高川河口南岸部及び王子川河北部にあります。全国でも5本の指に入る規模をもっており、7月頃から黄色の愛らしい花が一面に咲き乱れます。また、2級河川で日本一長い日高川では100種類以上の野鳥が飛来します。干潟は「日本の重要湿地500選」にも指定されていてシオマネキなどの希少生物が生息しています。



みなとオアシスごほう



日高港とEEパーク・Sioトープ C-5

平成29年11月19日に日高港一帯が全国103箇所目のみなとオアシスに登録されました。「みなとオアシスごほう」には新エネルギーを体験して学べるEEパークとゲゲゲの鬼太郎像があるSioトープがあります。EEパークでは、無料で楽しめるソーラーカーや新エネルギーを間近で学習することができます。Sioトープには親水池の周りに鬼太郎を含め計10体の妖怪像が設置されています。また日高港では、大型客船の入港や「宮子姫みなとフェスタ」が開催されます。

# 観光ガイドマップ



花薫るまち

**観光農園**  
F-8

冬から春にかけての観光農園では、ハウス一面に広がる花を摘みとることができ、イチゴの食べ放題も楽しめます。また、夏にはメロンも楽しめます。



御坊生まれの蓮

**舞姫蓮**  
D-2 D-5

御坊市で生まれた蓮の花「舞姫蓮(まいひれん)」  
御坊市の故・阪本祐二氏が、「大賀蓮」と「王子蓮」を交配して作り出した蓮で、花の開閉があたかも女性の舞い姿のようであることから、「舞姫蓮」と名付けられました。6月中旬～7月上旬頃まで、清らかで凛とした蓮の花をご覧いただけます。



### 日高川ふれあい水辺公園

E-3

大自然に囲まれた水辺公園で、ゴルフやキャンプなどのアウトドアを楽しむことができます。夏には、日高川の清流を活かしたカヌーも体験できます。



レジャーするなら



### 塩屋王子神社

C-5

熊野古道九十九王子の一つで、その中でも特に古く格式の高い王子社であったといわれています。境内には後鳥羽上皇の行在所の跡と伝える御所の芝跡が、石段の登り口には江戸時代の儒学者・仁井田好古が記した石碑があります。御神体が天照大神の美人像であるため、古来より「美人王子」とも呼ばれ、祈願すれば美しい子供を授かるというので、安産祈願の御参りをする人があとをたちません。社叢（しゃごう）は市の天然記念物に指定され、ナギやヤマモモの木などの巨木・老樹があり、春には満開の桜が楽しめます。



美人王子



### いや熊野神社

E-4

イザナギノミコトなど12神を祀った神社です。徳川8代将軍の吉宗が疱瘡（天然痘）を患ったおりに平癒祈願したところ、完治したことから疱瘡をいやす神様として有名です。



疱瘡をいやす神



### 須佐神社

E-5

スサノオノミコトを代表的な祭神とする村社です。3月10日の御乙祭（おとうまつり）は、200年以上の歴史を持った神事で日高路に春を告げる祭りです。山奥に住み着いた大蛇が、人々の生活を脅かしたので出雲からヤマタノオロチを退治したスサノオノミコトをお祀りしたところ、大蛇はどこともなく退散したという伝説にまつわる由緒ある神事です。「おとう」と呼ばれる選ばれた子どもたちが、神前で約2メートルもある幣（へい）をふって厄除けと豊作を祈願します。



大蛇退治の伝説



県下有数規模の都市公園



### 御坊総合運動公園

D-6

御坊総合運動公園は、運動公園と市民憩いの広場からなる17.2ヘクタールの都市公園です。市民憩いの広場にはアスレチック遊具、全長24メートルのカブトムシ型の複合遊具があり、家族連れや遠足などでにぎわっています。



### 爪書大師堂

C-6

弘法大師が爪で仏（十三仏）を書いたという岩が裏手にあります。像は風化されて見えにくいですが、信仰心の厚い人にはよく見えるといわれています。

見えますか？



### 歴史民俗資料館

D-6

カラス天狗のミイラとして知られる迦樓羅王尊像（かるらおうそんぞう）を展示しています。江戸時代末頃、修験者が尊像を担いで各地をめぐる、その尊さや御利益を説いて回ったときのものと考えられています。堅田遺跡や岩内1・3号墳（歴史を変えたヤリガンナの鋳型、銀線蛭巻太刀など）の考古資料や民具資料なども展示しています。

伝説の生き物(?)カラス天狗



古代の住居を復元

### 尾の崎遺跡

C-6

弥生時代から古墳時代初期にかけての竪穴式住居1基、方形周溝墓11基が復元されています。調査で製塩土器が多数出土しており、古くから塩作りが盛んに行われていたと考えられています。



### 光専寺の柏楨

C-6

柏楨はイブキとも言われる常緑高木です。新日本の名木百選・県指定天然記念物に選ばれ、県下最大の大きさを誇り、樹齢600年以上と推定されています。

県下最大の柏楨



いにしへのロマン

### 野島万葉歌碑

D-7

海が見渡せる絶景の地に「吾が欲りし野島は見せつ 底深き阿古根の浦の玉ぞひろはぬ」(わたしが見たいと思っていた野島は見せてくれましたが、底の深いアゴネの浦の珠はまだ拾っていません)という万葉歌碑が建てられています。作者の中皇命（ナカツスメラギノミコト）は斉明天皇であるといわれています。



霊験あらたか

### 八十八カ所石仏

D-6

観音山の中腹に、四国の各霊場から持ち帰った石で作られたという石仏が88体祀られており、お詣りすれば、中風や頭痛に効果があるといわれています。

# 宮子姫伝説

七世紀後半、九海士の里で誕生した宮子には大きくなっても髪が生えませんでした。  
 ある年、九海士の里は不漁。不漁の原因は海底から射す不思議な光でした。宮子の母・渚は「娘に髪が生えないのは前世の報い。私が罪滅ぼしをすれば」と自ら犠牲となって里人を救おうと海に飛び込みました。  
 海中深く潜り、光り輝いていたものを確かめると、それは小さな黄金の観音様でした。



渚は海中から観音様を拾い上げると庵に大切に祀りました。光が消えた海では大漁続きとなりました。里人たちは渚を限りなく尊敬しましたが、渚は手柄を誇ることもなく謙虚に里人のため礼拝を続けました。  
 ある夜、渚の夢に観音様が現れます。夢の中で髪が生えないかわいそうな娘のことを訴えました。夢から覚めると宮子に美しい髪が生えており、宮子の父・早鷹と渚は大変喜び、観音様のおかげと大層感謝しました。



年頃になると髪ものび、とても美しい黒髪であったので「かみなが姫」と呼ばれるようになりました。  
 ある日、宮子の長く美しい黒髪をツバメがくわえ、奈良の都の當時勢力を誇っていた藤原不比等の宮殿まで運びました。不比等はそのあまりにも美しい髪を見て「この髪を持ち主を宮仕えに迎えよう」と養女に迎えるのでした。



藤原不比等の養女となった宮子は、文武天皇の御后となり、奈良の東大寺を建立した聖武天皇を御産みになりました。  
 宮子は奈良に行っても故郷の九海士の里が忘れられず、特に庵に残してきた観音様が気になり悩んでいました。その悩みはやがて天皇のお耳に達し、「宮子に長く美しい黒髪を与えた観音様を祀るお寺を造立せよ」との勅命により道成寺が建立されたといわれています。



お問い合わせ

御坊市役所商工振興課・御坊市観光協会

TEL : 0738(22)4111 (代表) / 0738(23)5531 (直通)

FAX : 0738(23)5848

URL : <http://www.city.gobo.wakayama.jp/kankojoho/index.html>

<http://gobokanko.com//>